

市長と話そう、まち育て タウンミーティング

- ・ 日 時 平成26年4月14日（月）
- ・ 場 所 市役所本庁舎
- ・ 参加者 北上ユースワーカー協議会
佐藤 克英会長、菊池 セツ子さん、渡辺 富士枝さん
- ・ テーマ（1）北上ユースワーカー協議会について
（2）市内のPTA活動について
（3）市内各地域の活動について
（4）「和賀江島清掃・保全活動」への参加

北上ユースワーカー協議会は長年北上市の青少年健全育成活動に取り組んでいます。今日は市内地域の活動や鎌倉市で行われている「和賀江島清掃・保全活動」についてお話を交わしました。



① 北上ユースワーカー協議会について

佐藤さん：
20数年になります。

市長：
何年くらい活動を続けているのですか。

渡辺さん：
きっかけは、親が子供会の研修を受けても、子どもが卒業すると親も活動を離れるため、せっかくの指導ノウハウが受け継がれないのでこれを共有したいということでした。

佐藤さん：
私たちの目的は子どもにキャンプのやり方を教えるものではなく、親に指導のノウハウを教えるものです。



三宅まちづくり部長：
生涯学習センターの少年少女学級でも何度かお世話になったことがありますよね。

市長：

市では「北上市地域教育力向上基本計画」の中で、地域の祭りや民俗芸能の伝承を通じた教育について考えています。そこでこれまでの活動を通しての子どもたちの変化などをフォーラム等でお話しただけませんか。

佐藤さん：

ぜひよろしくをお願いします。



佐藤会長

②市内のPTA活動について

佐藤さん：

市内の子供会のリーダーの研修会が行われなくなったのはなぜでしょうか。

市長：

予算がないという理由だけで補助を打ち切ることにはしません。補助金の効果を評価したうえで定期的に見直しを行っています。

三宅まちづくり部長：

現在の地区交流センターの指定管理業務の中で「少年少女学級」として継続して行っています。

松田教育部長：

PTAには市から補助を行っています。また北上市PTA連合会へも研修を定期的に行っています。

③ 市内各地域の活動について

佐藤さん：

新聞折り込みのフリーペーパーにおける市内16地区の行事の掲載回数を調べてみると、昨年1年間で、多い地区は30回近く、少ないところは10回以下となっており、大きな差に驚きました。

市長：

地域の活動の性格によるものだと思います。周辺部は外部の人に発信するものが多いのに対し、市街中心地域は内向きの、地域の住民に向けた行事が多いです。

市長：

やはり人口減少がより切実かどうかということでしょうね。周辺地域は外に発信することで交流人口や定住人口を増やしたいという思いが強いので、記事にとりあげられやすい活動が増えるのだと思います。

市街中心地域も活動は盛んですよ。

三宅まちづくり部長：

北上市地域教育力向上基本計画策定のため、地域の民俗芸能などの活動を調査したところ、市内には1,000以上の活動があり、中心部も交流センターや公民館で100近くの実績がありました。



④「和賀江島清掃・保全活動」への参加について

佐藤さん：

毎年5月に神奈川県鎌倉市で行われている清掃・保全活動に参加しています。鎌倉市長も参加されており、鎌倉岩手県人会はこの活動をきっかけに作らなりましたよ。

市長：

大変によい活動ですね。鎌倉市のイベントに鬼剣舞を呼びたいというお話も聞いています。今後は「鎌倉市パートナーシティ制度」（注1）を通じてさらに交流が深まるのではないのでしょうか。

渡辺さん：

初参加の時は、私たちの岩手ナンバーの自動車を見て近所の方がお孫さんを連れて来ました。高齢のため岩手に来るのが難しいそうで、岩手ののにおいに触れたかったそうです。



佐藤さん：

きっかけは鎌倉市の市章であるササリンドウ（注2）です。鬼剣舞のササリンドウの刺繍と同じなので調べたところ、和賀江島を建造したのは和賀氏の祖先である和賀盛綱であったらしい。今ではそれをきっかけにして鬼剣舞などの交流が始まっています。

注釈

（注1）鎌倉市パートナーシティ制度・・

鎌倉市が定める民間団体主導型の都市交流制度で姉妹都市のような包括的なものとは異なり、歴史遺産保全や観光・産業振興など民間団体の特定分野における交流を促進するもの。

（注2）ササリンドウ・・

鎌倉市の市章であるササリンドウは鎌倉幕府を樹立した源頼朝の家紋と言われている。また鬼剣舞の装束には和賀氏の家紋である丸にササリンドウがデザインされている。